

韓国の著名漫画家ホ・ヨンマン画伯「岡山の旅」 ～「晴れの国おかやま」の旅～

ソウル事務所

クリアソウル事務所では、自治体と共同で、韓国の著名漫画家ホ・ヨンマン画伯をはじめ、韓国内でも有名な旅行作家や人気ブロガー等で構成される取材団を日本の各地に招致し、各地域の魅力を韓国に向けて発信する事業を行っています。

今年度は、韓国でも人気の高い日本の温泉や伝統旅館をメインテーマに、自然景観や伝統文化、郷土料理や地元のお酒などを取材しています。

今回は、2015年7月5日（日）～9日（木）の日程で実施した岡山県での取材の様子を紹介します。

○取材日程

7/5（日）	夜	岡山県到着	
7/6（月）	午前	かも川手延素麺で手延うどんづくり体験	（浅口市）
	午後	岡山後楽園、岡山城（フルーツパフェ）	（岡山市）
	夕方	倉敷美観地区	（倉敷市）
7/7（火）	午前	ベティスミスジーンズミュージアム	↓
	午後	児島ジーンズストリート	↓
7/8（水）	午前	蒜山ハーブガーデン「ハービル」	（真庭市）
		ひるぜんジャージーランド	↓
	午後	蒜山高原センター（ひるぜん焼きそば）	↓
		ひるぜんワイナリー	↓
		湯原温泉郷	↓
7/9（木）	午前	勝山町並み保存地区	↓
	午後	旧遷喬尋常小学校	↓
		岡山県出発	

1 岡山県伝統の味と歴史的景観

岡山県西部にある浅口市は遥照山から湧き出るきれいな水と瀬戸内海沿岸の塩、周辺に良質な小麦の産地に恵まれ、国内有数の手延べ麺の産地となりました。現在では国内の手延べ麺の約37%が浅口市で生産されているとのこと。取材団は手延べ麺づくりを体験し、昼食には自分たちで作った麺に舌鼓を打ちました。

その後、日本三名園の一つ、岡山後楽園を散策しました。フランスの旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド」で最高評価の三つ星を獲得した美しい庭園に、画伯をはじめとした取材団からは感嘆の声が上がりました。



手延べそうめん作りを体験



日本三名園の一つ・岡山後楽園

また、後楽園と旭川を挟んで隣接した岡山城は、天守閣の壁に黒漆塗りの下見板を取付けていたことから外観が黒く、「烏城（うじょう）」とも呼ばれていたそうです。その復元天守内にあるお城茶屋では、岡山県の美味しい果物をふんだんに活かしたフルーツパフェを楽しむことができます。



旭川と岡山城



岡山の魅力の一つ・フルーツパフェ

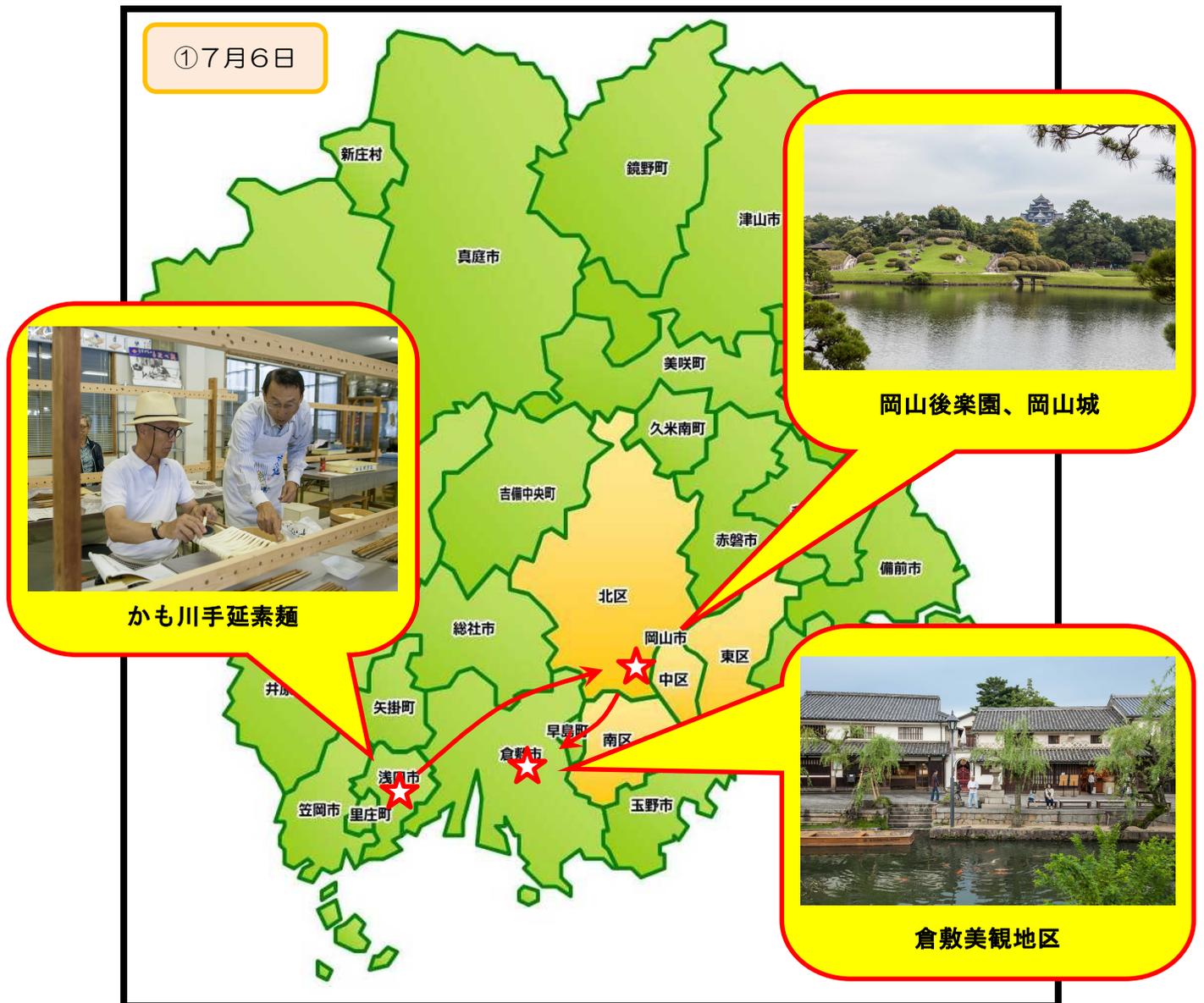
夕方には倉敷市へ移動し、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている「倉敷美観地区」取材しました。情緒ある倉敷の町並みに、取材陣は次々とシャッターを切っていました。



倉敷美観地区を散策する画伯



倉敷美観地区の景観



参考URL かも川手延素麺HP <http://www.kamote.co.jp/>
岡山後楽園HP <http://www.okayama-korakuen.jp/>
岡山城HP <http://www.okayama-kanko.net/ujo/index.html>

2 国産ジーンズ発祥の地・児島

岡山県は近代において繊維産業が興り、現在でも全国の学生服の約8割が生産されています。なかでも児島地域は、制服等で培った厚手の生地の縫製技術などを生かして、国内で初めてジーンズを製造したことで有名です。取材団はそんな「国産ジーンズ発祥の地」倉敷市の児島を訪問しました。

女性用ジーンズブランドの「ベティスミスジーンズ」が運営する日本初のジーンズ資料館「ベティスミスジーンズミュージアム」では、過去の貴重な資料や実際に使っていた機械などをもとにジーンズの歴史を学んだり、リベット打ち体験などをしたりしました。



キャラクターがお出迎え



ジーンズミュージアム



ミュージアムではオーダージーンズも注文可能



画伯もリベット打ちに挑戦

つづいて、地元のジーンズメーカーなどのショップが軒を並べる「見島ジーンズストリート」も取材しました。

ここでは、ジーンズだけでなく、ジーンズ生地を使った小物類など、個性的な商品を豊富に取りそろえており、取材団は、取材の合間に、気に入った商品を購入していたようでした。



ジーンズ型の看板が目印

個性的な商品が並ぶショップ



参考URL ベティスミスジーンズミュージアムHP

<http://www.betty.co.jp/museum/>

児島ジーンズストリートHP <http://jeans-street.com/>

3 高原リゾート地・蒜山高原と全国露天風呂番付西の横綱・砂湯

岡山県北部の真庭市にある蒜山高原は、豊かな自然に恵まれた清涼な高原リゾート地であり、また国内最大のジャージー牛の産地としても知られています。

取材陣は、この蒜山高原にある蒜山ハーブガーデン「ハービル」を訪問しました。「ハービル」には約200種類ものハーブが栽培されており、そのなかでも特徴あるハーブの香りを楽しんだ後、西日本最大級のラベンダー畑で、ラベンダーの収穫を体験しました。

次に向かったひるぜんジャーシーランドでは、生憎の雨でジャーシー牛は牛舎に入っており、乳搾り体験をすることができませんでしたが、ホースパークで馬の餌やりや乗馬体験し、取材団は自然との触れ合いを楽しんでいました。



熱心にラベンダーを摘む画伯



画伯もこのポーズ！

蒜山高原のご当地グルメでは、第6回B-1グランプリでゴールドグランプリを受賞した「ひるぜん焼きそば」を外すことはできません。蒜山地方では、昭和30年代に県の施策でジングスキャンを観光資源とするようになり、店だけでなく、家庭でも食べられるようになりました。各家庭では独自に工夫してタレを調合していましたが、そのたれを焼きそばにも使うようになりました。そんななか、ある食堂で、ニンニク・玉ネギ・リンゴ等の様々な材料や調味料を調合して作った味噌だれに、親鶏のかしわ肉とキャベツを入れて作った焼きそばが評判となったのが、今日の「ひるぜん焼きそば」のはじまりだそうです。

また、地元の山葡萄を使ってワイン造りをする「ひるぜんワイナリー」も見逃せません。山葡萄は中に大きな種が3、4個も入っているうえ、果汁も少ないので、ワインをつくるには大量に必要ですが、糖度が高く酸味が少ないものを選びながら栽培し、安定供給を実現したそうです。こだわりのワインの味は、食に造詣の深い取材団をうならせました。



ひるぜん焼きそば



地元の山葡萄を使ってワイン造りをする「ひるぜんワイナリー」

その後、「美作三湯」の一つで、全国露天風呂番付で西の横綱とされる湯原温泉郷の砂湯
取材しました。川底の砂を噴き上げながらお湯が湧いている様から「砂噴き湯」、「砂湯」
と呼ばれている天然の露天風呂で、雄大な渓谷に湯気を吐き出すダイナミックな情景に、
ホ・ヨンマン画伯も絵心を刺激され、雨の中にもかかわらず、絵筆をふるっていました。



「砂湯」をスケッチする画伯



「砂湯」のイラスト



③ 7月8日

ハーブガーデン

ジャージーランド、ワイナリー

湯原温泉郷「砂湯」

参考URL 蒜山ハーブガーデンハービルHP <http://ww81.tiki.ne.jp/~herbill/>
ひるぜんジャーシーランドHP <http://jerseyland.hiruraku.com/>
ひるぜんワイナリーHP <http://www.hiruzenwine.com/#id1>
湯原温泉郷HP <http://www.yubara.com/>

4 真庭市に残る懐かしい風景

真庭市にある「勝山町並み保存地区」は、かつて出雲街道の要衝として栄えた街並みを今に残しています。土蔵をはじめ、白壁や格子窓の古い町並みが残るこの情緒あふれる城下町のもう一つの特徴は、色とりどりののれん。商店、工房といったお店だけでなく、一般の民家までも含めた 100 軒もの家々の軒先にのれんが掲げられています。

色鮮やかなのれんの数々に、ホ・ヨンマン画伯は「のれんを買って帰りたい」というほど感銘を受けた様子でした。



勝山藩御用達の「御前酒」蔵元



勝山町並み保存地区を彩るのれんの一部

同じく真庭市内にある旧遷喬尋常小学校校舎は、数々の映画やドラマの撮影に使用され、国の重要文化財にも指定されています。韓国人にとってもどこか懐かしい木造校舎に、取材団も童心に帰ったようでした。



参考URL 勝山町並み保存地区 (真庭観光連盟HP内)

<http://cms.top-page.jp/p/maniwa/3/3/>

5 観光客誘致に向けて

今回は、岡山県の代表的な温泉地の一つである湯原温泉を中心に、豊かな自然を生かした観光資源や中世や近代の歴史的景観、さらには地域の特色を生かした食材やグルメなどを体感しながら、岡山県の歴史と魅力を体験する取材となりました。

取材内容は、韓国でも有数の発行部数を誇る雑誌にも掲載され、日本に関心が高い一般消費者を中心に広く発信されます。また、取材に参加した作家やパワーブロガー、モニターらの執筆活動やネット上でのブログ等により、さらなる情報発信が行われ、取材地への観光客誘致が促進されることが期待されます。

(一色所長補佐 愛媛県派遣)



雑誌 HEYDAY8 月号に掲載